

3月市議会3日開会

一般会計予算740億8400万円
前年度比1.4%増で過去最高額に

鶴岡市議会3月定例会は3日(火)から25日(水)まで開かれま

却施設整備事業」が、前年度を約22億円上回り、最も大きな予算額となつていきます。

鶴岡市の令和2年度当初予算9件、補正予算3件、条例21件、事件10件、人事2件の合計45件の議案が2月21日、議会に示されました。

市民税増収見込み、交付税は合併特例終了で減額

歳入では、市民税が農業所得の伸びから増収を見込み、8億2707万円増の157億14万円、

令和2年度一般会計当初予算の総額は740億8400万円で、

前年度比9億9700万円、1.4%増で過去最高額となりました。

地方交付税は、合併特例期間の終了に伴う段階的縮減5年目で、5億8523万円減の205億8091万円です。

市債はごみ焼却施設

新市発足後最大の施設規模である「ごみ焼

却施設整備事業」が、前年度を約22億円上回り、最も大きな予算額となつていきます。

整備や市役所の耐震補強などに伴い、8.1%増の108億670万円です。

歳出では、人件費は会計年度任用職員制度の施行により、臨時職員の賃金等が物件費から人件費に分類が変わり、8.8%増の117億8499万円、

普通建設事業費では、ごみ焼却施設と一般廃棄物最終処分場の整備に約89億円等で、

全体では19.6%増の149億9135万円です。

第3子以降の副食費無償化

新年度の新規・レベルアップの主な重点事業は次の通りです。

■総合計画「未来創造のプロジェクト」のうち、若者・子育て応援では、

若者・子育て応援推進事業441万9千円は、奨学金返済支援制度の創設と地元就職を促すキャリア教育を支援、

地元出身学生等帰郷促進事業851万2千円は、Uターン就職支援とセミナー開催、

第3子以降の副食費無償化(市独自)19

14万2千円は、国の無償化制度の対象にならない副食費について、3歳から5歳の第3子以降を無償化、

■全世代全対象型地域包括ケア推進では、生活困窮者自立支援事業2981万7千円は、新たに就労準備支援の委託に1名増員、

障害者施策推進事業361万2千円は、障害者福祉計画策定年のため策定業務を委託、

新規就農者への支援に7802万円

■食文化・食産業創造では、

庄内浜水産物消費拡大推進事業237万2千円は、庄内浜ブランド創出協議会に支援や販路拡大、

物産宣伝開発事業1000万円は、つるおかブランド戦略推進コーナーディネーターを配置、

農業人材確保事業は、SEADSを活用し域外からの新規参入者への支援2195万7千円、新規就農者への支援7802万1千円、

循環型農業拡大推進事業では、庄内スマート・テロワール推進協議会負担金100万円、ヤマカタデザイン(株)の有機農業新ブランドSHONAIR OOTS(ショウナイ

ルーツ)プロモーション301万5千円、

食文化創造都市推進事業では、鶴岡型ESD(持続可能な開発のための教育)構築検討事業や、SDGs(持続可能な開発目標)理解促進事業に369万5千円、

産業強化イノベーションでは、

企業立地促進事業では、新産業集積用地調査業務委託料1630万3千円で、次なる用地開発計画を策定、

先端研究産業支援センター拡張事業5170万円は、新棟建設に向け実施設計等、

■城下町つるおかりブランドディングでは、

酒井家庄内入部400年記念事業1628万5千円は、令和4年度400年記念に向け各種事業計画検討、

シルクノチカラ未来創造事業は、4番蚕室リニューアル実施設計に1860万円、

■輝く女性活躍推進では、

女性のための地域づくり活動研修事業6万2千円、フレックスタイムの実施164万7千円、農作業見学会一時保育所設置9万円等、



ごみ焼却施設の完成予想図(鶴岡市資料より引用)

（1面のつづき）

- 地域国際化SDGs 推進では、
- ・庄内自然博物館構想 推進事業2051万2千円は、協議会への補助金制へ移行、
- ・環境教育推進事業151万8千円は、ことも環境かるたの改定・作成、

個人番号カード交付
窓口等拡大に1億1303万円

■総合計画施策の大綱
に基づく事業では、

- ・応急処置用資機材整備事業1288万8千円は、12誘導心電図送電システムを導入し、患者搬送中の初期対応力を向上する、
- ・移住・定住促進事業は、アンバサダー懇談会開催等721万6千円、
- ・住民基本台帳ネットワークシステム事業1億1303万5千円は、個人番号カードの交付窓口・申請方法の拡大、
- ・予防接種事業1億9483万9千円は、定



10周年リニューアルが予定されている加茂水族館

新たに2つの小中学校区で協働本部を設置、

- ・民俗芸能等保存伝承事業49万1千円は、（財）地域創造の助成を活用し映像による記録保存、
- ・オリンピックパラリンピック推進事業1067万5千円は、ホストタウン活動支援や聖火リレー費用負担、

期予防接種にロタウイルス予防接種を追加、

- ・がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業136万円は、県事業の拡大に伴い乳房補正具購入経費の一部を助成、
- ・地域福祉計画策定事業235万4千円は、改定にあたり同計画策定委員会を開催、
- ・地域生活支援事業46万6千円は、耳が不自由な人にプロジェクターや表示用パソコン等を整備、
- ・荘内病院井戸水飲料化システム設置工事322万円は、飲料水3日分を確保する設備を設置、
- ・いじめ対策等生徒指導推進事業106万7千円は、新たに弁護士への相談体制構築、
- ・朝陽第五小学校改革事業1454万6千円は、耐力度調査、
- ・高等教育機関連携促進事業は、昭和女子大学包括協定事業82万7千円、
- ・地域学校協働活動推進事業280万円は、

- ・観光地美化整備事業4976万8千円は、随神門前ポケットパーク・公衆トイレ整備工事費、観光地公衆トイレ整備補助金、
- ・まつり振興事業4167万8千円は、赤川花火第30回記念大会に支援拡充

「現状維持」と「削減」 参考人の意見割れる

市議員定数に関する意見聴取会

鶴岡市議会議員定数等検討特別委員会（渋谷耕一委員長）が主催する議員定数に関する参考人意見聴取会が2月19日に開かれ、「市議会の議員定数についてどう考えるか」について市内自治組織の代表者や協同組合、PTAの代表者等19人が出席し意見を述べました。

参考人の意見としては、定数の現状維持と削減の意見が半数となりました。

現状維持の意見

●A氏―現状維持がよいと思う。本市は、広域であり、教育でも海岸地教育、僻地教育、平野部など地域的にも多様。それぞれに生活様式、産業、文化がある。地域の財産がたくさんある。掘り起こし活性化につなげるのが議会人の役割では。●B氏―議員は、広域合併時から7割削減。市民の声聞き取れなくなる。市民の声を代弁する議員。大都市一極集中、消滅につなが

加茂水族館10周年
リニューアルに1億2300万円

- ・加茂水族館改築事業1億2300万円は、10周年リニューアルに向け実施設計、
- ・鶴岡シビックコア地区整備推進事業539万5千円は、国の第

二合同庁舎建設予定地の土壌汚染除去、

- ・朝日庁舎改築事業85万7千円は、地質調査及び測量設計、
- ・RPA導入実証事業668万8千円は、ロボティック・プロセスオートメーションの略で、ロボットによる業務自動化の取り組み

る。自助共助も限界。

●C氏―ただ定員を減らすことが良いとは思えない。減によって地域の声が届きにくくなる。市民目線で地域特性をよく理解している議員が必要。得意分野を活かすため、兼業も可能にすべき。競争力も出る。

削減すべきの意見

●D氏―削減すべき。議会は、多様な民意、チェック機能が求められるが、長く欠員が出ている。より効率的な

削減すべきの意見

●E氏―28、29がいい。財政厳しい、削減する方向。議員の質を高めれば、地域に必ず1人いらぬ。広域でもやっていける。

土木課入札結果（ ）内は予定価格

- 2月20日入札分
- ・茶屋川原町の内線道路改良工事（債務負担行為）（丸岡地内）（入札3業者）
（株）田川 6,200,000円（6,328,000円）
工期～6/5（落札率97.98%）
 - ・中村中央線表層改良工事（債務負担行為）（大網地内）（入札6業者）
斎藤建設（株）6,650,000円（6,810,000円）
工期～6/30（落札率97.65%）
 - ・市道大清水橋線大清水橋橋梁補修工事（債務負担行為）（五十川地内）（入札5業者うち1業者辞退）
本間建設（株）66,700,000円（67,542,000円）
工期～3/3/25（落札率98.75%）

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

- 2月21日入札分
- ・一般廃棄物最終処分場排水管整備工事に伴う発注者支援業務（西目・下小中地内ほか）（入札3業者うち1業者辞退）
（株）ジシステム 62,000,000円（62,170,000円）
期間～4/3/31（落札率99.73%）